

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和 6年 1月 24日

協議会名：栗島浦村地域公共交通協議会

評価対象事業名：離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）	
粟島汽船株式会社	粟島と本土（岩船）を結ぶ唯一の交通手段で、通院や買い物などで利用する島民のほか、公共工事関係者や観光客が主となっており、利用者には欠かすことができない役割を担っている。	・ 船員については甲板員1名機関士2名が退職し人数確保が喫緊の課題である。今季春に1名就職見込み。 ・ 島内イベントは4月島内マラソンが時化予報の為、中止。5月の島開き、6月にクリーンアップ作戦（島内海岸清掃ボランティア）などが開催された。旅客輸送人員は5月は4,532名（前年比+931名）、8月は6,593名（+1,255名）全体で32,988名（前年比+2,650名）。 ・ 経費はドック内容の見直しもあり船舶修繕費が約5,002万円（昨年比約▲590万円）、全体では約53,244万円（昨年比約▲1,241万円）。ただし燃油高騰もあり燃料潤滑費は約6,334万（+606万）となっている。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	R5年度の目標に対する実績 【旅客輸送人員】 目標56,000人、実績32,988人（達成率58.9%） 【欠損額増加の抑制】 目標（前年度） ▲206,027,147円 実績（今年度） ▲338,607,243円	・ 今後も安定的な運航を維持するため、船員の確保・育成に努める。 ・ 利用者を増やすため島内のイベントを実施し利用促進に取り組む。 ・ 観光客の誘致増加に向けて観光協会と連携し「あわしま自然体験」での体験を目的とした利用者の誘致や県の支援事業を活用した体験の割引など、若者、子供を対象とした体験イベント等を企画し実施していく。 ・ 一層の経費削減を行い、欠損額の抑制に努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6年 1月 24日

協議会名：	栗島浦村地域公共交通協議会
評価対象事業名：	離島航路運営費等補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	栗島航路は、栗島と本土を結ぶ唯一の交通手段であり、極めて公共性が高く、村民の生活安定、経済発展及び人的交流のためには不可欠な航路である。 今後も島民の安心した生活と地域経済の発展を維持していくためには、離島航路の確保・維持・改善が不可欠であり、航路事業者ばかりではなく、国、新潟県、栗島浦村、周辺自治体などが総合的に連携しながら支援していくことが重要であり、引き続き、本事業を活用しながら、関係者が一体となって、当該航路の確保・維持・改善を図っていく。